

最初にコチラの
使い方動画を
ご覧ください。

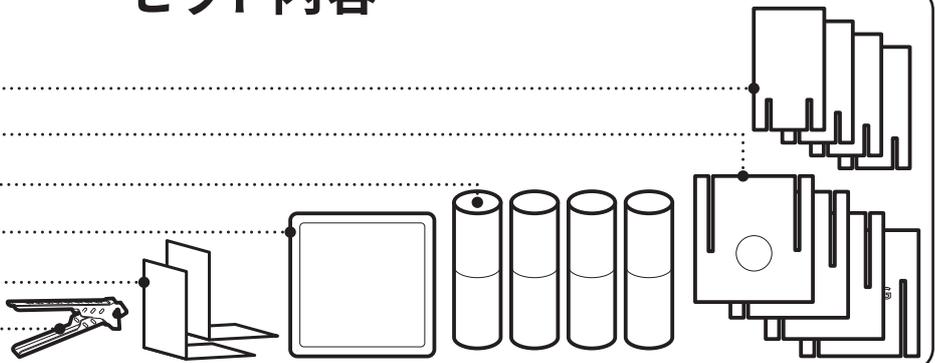


JETLOG

専用焼き火台キット 使い方ガイド

セット内容

- 金属板(上部)：4枚
- 金属板(下部)：4枚
- 丸棒：4本
- 受け皿：1枚
- L字金具：2枚
- クッカークリップ：1個



事前にご用意いただくもの

- 着火用ロングライター
- 水入りペットボトル(500ml~)
- 厚口アルミホイル

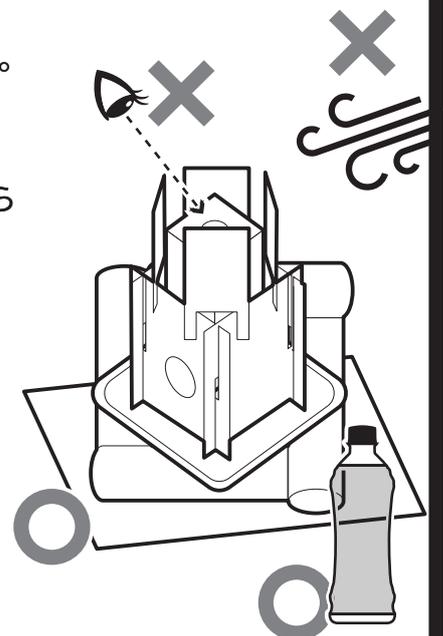
あると便利なもの

- 長めの焼き串
- 耐熱グローブ
- 軍手
- 焼き網
- 火バサミ
- 耐火シート



ご注意ください

- 風が強いところだとうまく着火できないことがございます。
必要に応じて周りに風よけを立てるなどしてください。
- 消火用に、500mlのペットボトルに水を入れたものをあらかじめご用意ください。
- 下に耐火シートを敷き、その上に専用焼き火台を乗せ、そこにジェットログを置いていただくと、安全で、片付けもしやすくなります。
- 手動送風機で風を送る際、火が吹き上がります。
上から覗き込まないようご注意ください。



※先に、表面のQRコードの使い方動画をご覧ください。

専用焚き火台の組立て方

① [丸棒]を互い違いに四角く組み、[丸棒]の切れ込みに[L字金具]を差込み固定。〈図-①〉

② ①の上に、[受け皿]を45°程度ずらして設置。〈図-②〉

上から見た際に、[L字金具]が[受け皿]で隠れるようにを配置することで、収まりよく設置ができます。

③ ②の受け皿の上に厚口ホイルを2枚重ねて敷く。

④ [金属板(下部)]4枚を組み立てる。〈図-③〉

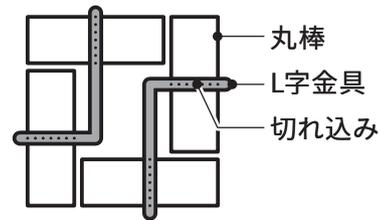
- ・丸穴つき[金属板]を、スリットを上側にして配置
- ・丸穴つき[金属板]に、上から無地[金属板]を差し込む
- ・無地[金属板]の上からJETLOGロゴ入り[金属板]を差込む

⑤ 組み立てた[金属板(下部)]を、[クッカークリップ]で掴み、③の受け皿・厚口アルミホイルの上に置く。

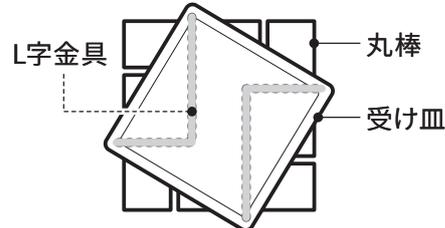
丸穴つき[金属板]を[クッカークリップ]で掴むと、全体を持ち上げることができます。

⑥ [金属板(下部)]の角ごとに、[金属板(上部)]を差込む。〈図-⑥〉

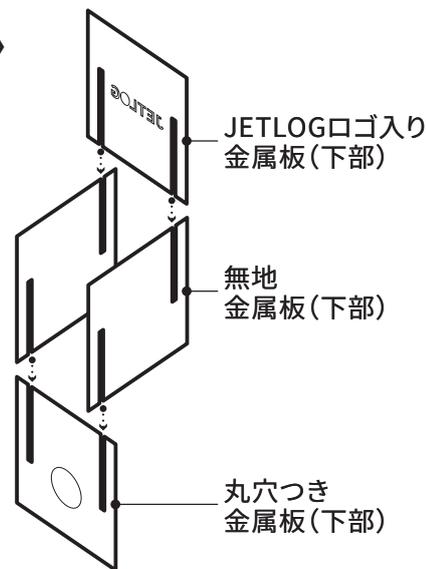
〈図-①〉※上から見た様子



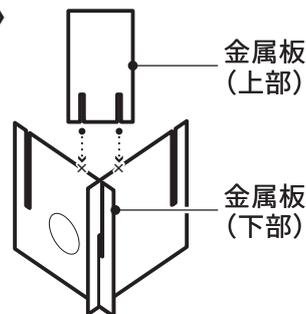
〈図-②〉※上から見た様子



〈図-③〉



〈図-⑥〉



専用焚き火台×ジェットログの使い方

⑦ 着火剤を、ジェットログの横穴から入れる。

⑧ 専用焚き火台にジェットログを入れ、横穴から着火用ロングライターで着火。

専用焚き火台の横穴と、ジェットログの横穴の位置を、揃えて入れてください。

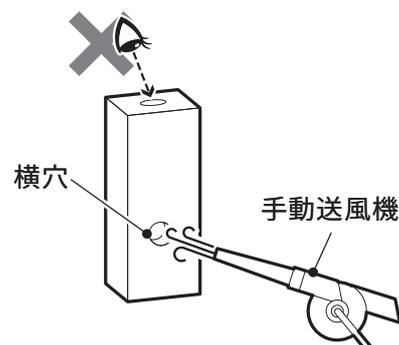
⑨ 火が落ち着いたら、網などをのせて調理する。

⑩ 十分に燃やして炭化が進み崩れ始めたら、[金属板(上部)]を外し、[金属板(下部)]に網などをのせて、熾火を楽しむ。



注意

一度安定して燃え始めてから、風や酸素不足により火が弱ったり消えた場合、手動送風機で横穴から風を送り込んでください。



〈!注意!〉送風中に上から覗き込まない。

後片付け・処理方法

燃え殻・灰を、敷いていた厚口アルミホイルで包んで片付け完了!

灰もあまり飛び散らず、簡単にすっきりと片付きます。
※灰は、各自治体や各利用施設のルールに従って処分してください。